



■ テーマ

ルーブリックのレビュー報告

■ 講師

山田 嘉徳 氏 (教育推進部 特任助教)

ルーブリックによる評価が今日重視されるようになった背景を確認し、ルーブリックのタイプとその特徴を整理します。次に、先行研究の知見を手がかりとし、ルーブリックによる評価にまつわる課題を明らかにします。そこでの課題を踏まえ、ルーブリックを取り入れた学びの評価の質を高めるための方法論について検討します。

具体的には、質的研究における妥当性に関する諸概念を手がかりに、ルーブリックによる学びの評価の一貫性を高めるための検討方略を例解しながら、学びを適切に評価するための知見を提示します。

2014年

12月3日 **水** 10:00～11:00

第2学舎 1号館 1階 第1会議室

■ 対象者

本学教職員 (非常勤講師含む)

■ お申込み

事前申込: 不要



ルーブリック勉強・研究会



平成26年度文部科学省大学教育再生加速プログラム (AP) に本学の取り組みが採択されたことから、教育推進部ではさらなる教育力の向上を目指し、ルーブリックの開発・普及に伴い、そのための基礎的知見を共有することをねらいとしております。



〈お問い合わせ先〉

教育開発支援センター 山田 嘉徳 (教育推進部 特任助教 内線3801)